**【書式】間接強制申立書（扶養義務等にかかる金銭債務の場合－将来６か月分が含まれる場合）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 　　　　　　　　　　　 　　　　**間接強制申立書**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　収　入　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印　紙　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和○年○月○日　　　　地方裁判所　　　　　　　　　御中　　　　　　　　　　　　　　　債権者代理人弁護士　○　○　○　○　印　　　　　　　　当事者の表示　別紙当事者目録記載のとおり（※省略）　　　　　　　　　　　　　　　　申立ての趣旨１　債務者は、債権者に対し、次の及びの各金員を支払わなければならない。　　金○○円　　令和○年○月○日から同年○月末日まで毎月末日限り金○○円　（債務名義表示の義務を記載）２　債務者が本決定送達の日から○日以内に前項の金員の全額を支払わないときは、債務者は債権者に対し、金○○万円を支払え。３　債務者が第１項の各月ごとの金員の全額を同項の期限内に支払わないときは、債務者は債権者に対し、各月分全額の支払がされないごとに各金○○円を支払え。　　　　　　　　　　　　　　　　申立ての理由　債務者は、債権者に対し、執行力ある債務名義正本（○○法務局所属公証人○○○○作成の令和○年第○号○○契約公正証書正本）の第○条に基づく扶養義務に係る支払義務があるところ、債務者は令和○年○月分から令和○年○月分までの支払を怠り、未払額が合計金○○万円となっている。　債務者は借家住まいであり、現在の勤務先も申立人に明かさないことから、債権者は、本件債権について直接強制によらず、間接強制の申立てをする。　なお、債権者は、債務者の履行遅滞によって、住居の家賃滞納を招いてしまい、転居せざるを得なくなった結果、少なくとも金○万円の損害を受けている。 |  |
|
|  | 　よって、民事執行法１６７条の１５及び１６に基づき申立ての趣旨記載の裁判を求める。　　　　　　　　　　　　　　　　添付書類１　執行力のある公正証書正本　　　　　　１通２　上記送達証明書　　　　　　　　　　　１通３　申述書　　　　　　　　　　　　　　　１通 |  |